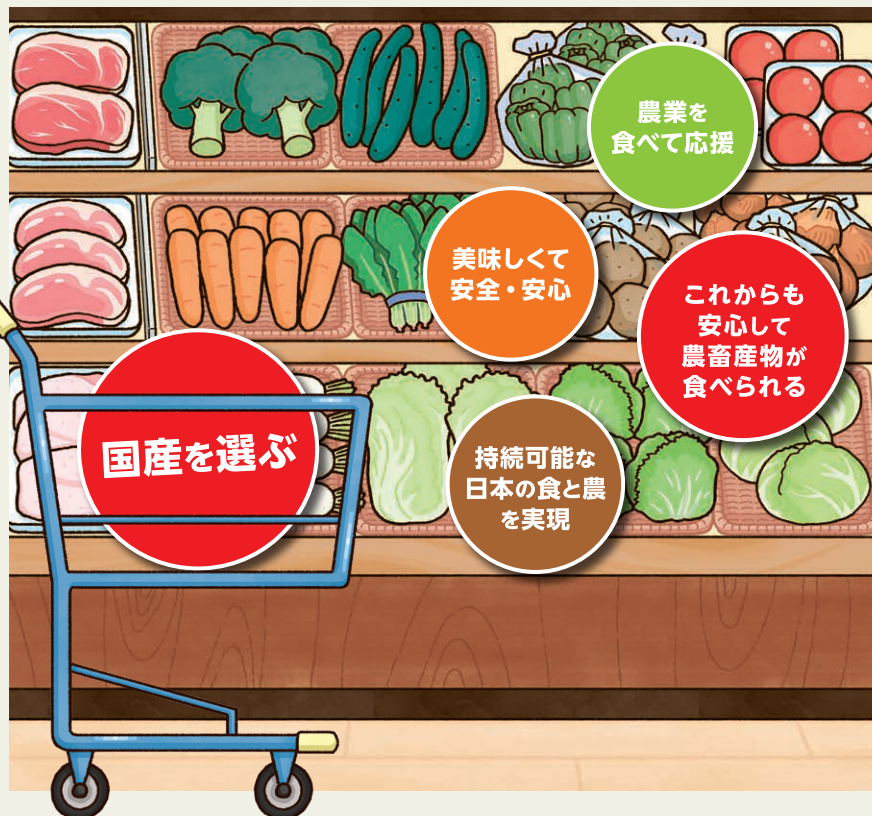


その時、あなたは

食の未来も選んでいます。



日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょうか。それには・・・

JAグループサポーター 林修



私たちの国で

消費する食べものは、



できるだけこの国で生産する

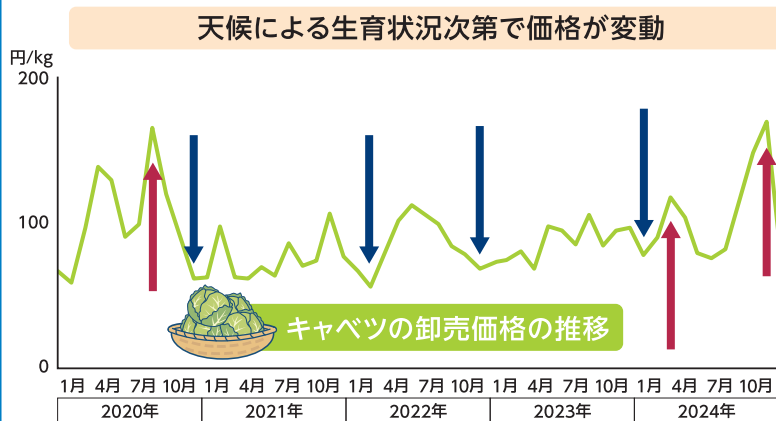
国消費国産を進めていくことが大事です。そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

天候に価格が左右されやすい野菜。

安定供給に向けた取り組みを進めています。

野菜の価格が変わりやすい理由

生産量や品質が天候に左右されやすく、保存が難しい。



JAグループの取り組み

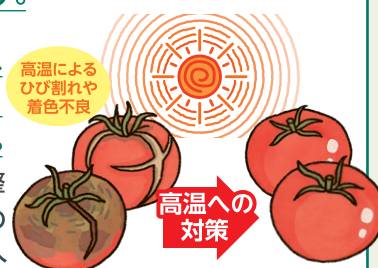
ピーマンの産地リレー



産地リレーで、野菜の安定供給に取り組んでいます。

安定供給に向け、高温への対策を推進しています。

- 植える時期の調整
- 高温に強い品種の導入や日よけの導入



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ